



# 福島南ロータリークラブ

基本方針：ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

事務局/〒960-8151 福島市太平寺宇通6-2 サ・36・メソファイブ 1F2号室  
tel. 024-546-3793 fax. 024-545-7878

例会場/サンパレス福島 〒960-8101 福島市上町4-30  
tel. 024-523-3811(代) fax. 024-523-0375

HP アドレス <http://www.inaka.ne.jp/f-southrotary/index.html>

ロータリーを实践し  
みんなに豊かな人生を

■会長：大野順道 ■幹事：金子親房  
■会報委員長：丹治洋子 ■副委員長：佐藤朋也  
■委員：穴戸清和 菅野良二 吉田仁一 渡辺勇

## 第7回例会

平成25年8月21日(水) サンパレス福島

■会員/71名 ■出席/46名 ■出席率/64.79% ■メイクアップ/25名 ■修正/71名 ■修正率/100.00%

## 本日のプログラム

- 1 開会点鐘
- 2 来訪者紹介と会長挨拶
- 3 8月誕生日
- 4 国際奉仕プロジェクト同行報告  
齋藤 浩 地区国際奉仕委員長
- 5 東京麹町姉妹 RC との親睦コンペ報告  
国分 秀夫 ゴルフ部会長
- 6 会員スピーチ  
菊地 和宏 会員
- 7 社会奉仕委員会研修セミナー報告  
廣澤 俊樹 社会奉仕委員会委員長
- 8 閉会点鐘

## 会員の広場

福島南ロータリークラブも会員増強運動の成果で、以前の会員には及びませんが、ついに70人を超えるクラブとなりました。大野会長中心に会員全員で切磋琢磨して、どこにも負けないクラブ作りをしたいと思えます。

## 今日の一面記事 8/21 福島民報

東京電力福島第一原発の地下タンク周辺で汚染水の水たまりが見つかった問題で、東電は20日、タンクからの漏えいを認めた上で、漏えい量が約三百トンに上るとの見解を示した。タンクからの漏えいは五回目で、漏れた量は過去最大量となる。

福島灯ろう流しが、阿武隈川河畔で行われました。亡き人との絆を大切に思う人々が、仏教の方のみならず、多くの方々がお出でになりました。三千発の花火のもと、約6000個の灯ろうに、それぞれの思いを託しました。福島灯ろう流しは、一昨年より万灯会の容をとっていますが、「流燈や一つにはかに さかのぼる」という飯田蛇笏の句があるそうです。

この日、姉妹クラブの麹町RCでは納涼夜間例会がホテル・ニューオータニで行われ、当クラブでは吾妻会員が代表して参加致しました。また、昨日は白河高原カントリークラブで麹町RCのコンペがあり、国分秀夫ゴルフ部会長ほか6名の方が参加致しました。後ほどご報告をお願致します。食事の後には、菊地和宏新会員スピーチと、地区社会奉仕委員会セミナーの報告です。菊地和宏会員、廣澤俊樹委員長よろしくお願致します。



## ◆会長あいさつ◆

## 大野 順道 会長

皆さん こんにちは。先々週は、ガバナー公式訪問がございました。クラブ協議会に於いては、各委員長には本年度の活動方針を発表していただきました。各委員長の真摯な取り組みに心強く思いました。クラブ協議会の間、鈴木恒昭SSA委員長のご指示で、菅原節子会員が、ガバナー令夫人をエクスカーションにお招きして、御倉邸をご案内して下さいました。また、例会については、ガバナーより「入会セレモニーに感激し、身が清められた気分になりました。」との言葉もありました。公式訪問が無事に終えましたことを皆様に感謝申し上げます。

さて、先週はお盆で休会でした。皆様は如何お過ごしでしたか？地獄の釜の蓋も開く「みなさんどうぞお休み下さい」ということですが、私はそうもいきませんでした。8月17日、福島の夏の風物詩の一つである

## ◆8月誕生日◆

S18年8月30日生まれ 富田 健三郎 会員



～富田会員のお人柄が味わえたスピーチでした。ありがとうございました。～

## ◆会員スピーチ◆

菊地 和宏 会員



～柔道整復師、骨接ぎ先生のへそ曲がりのお話～  
骨折して来院した患者さんに、「骨折してよかったですね。」と言い、「見えてますか？聞こえてますか？息してますか？ただ、骨折しただけではないですか。」となくさめます。

なってしまうことは、しょうがないとあきらめる。ストレスが健康を害するもて、病気の根源です。いらぬものは捨てる、手放してストレスを発散してください。

## ◆国際奉仕プロジェクト同行報告◆

## 齋藤 浩 地区国際奉仕委員長

皆さん今日は。なんか浦島太郎の気分でごここに立っている感じがします。7/29～8/15まではオーストリアの首都ウィーンで暮らして、帰国したばかりで、未だ時差ばけになやんでいます。

ご承知の様に前年度末、オーストリア D1910、D1920 から福島で学ぶ大学生を、10年続いている「EUROSMILE2013プログラム」に3週間招待したいと案内がありました。滞在費は先方持ちで航空運賃は当地区負担で、本人負担は10万円でしたが、19名応募者がありました。5大学から9名を厳選し、彼らの危機管理を目的に引率して行ってきました。

オーストリアを中心に周囲6カ国の若者たちと文化を肌で感じ、交流を深めグローバルな視野を広げ、新たな視点を持つことで、日本そして福島を見つめ直すきっかけとなる派遣でした。

震災、原発事故の被災地福島に生きる学生として、今の福島の現状を世界に伝えるプレゼンテーションや、原発もなくIAEAの世界本部のある国オーストリアへの訪問、研修、学生との交流、そして、最終日には日本大使館の晩餐会に招待されるなどの経験を生かし、自分を高め、それが今後の福島の復興再生の力になることでしょう。

来る8/24の国際奉仕セミナーでは各クラブの関係者に報告してもらいますので、是非ご出席下さる様お願いいたします。

## ◆東京麹町RCとのゴルフコンペ報告◆

## 国分 秀夫 ゴルフ部会長

姉妹クラブである東京麹町RCと親睦コンペが、8/19宿泊懇親会、8/20プレーの日程で白河高原カントリークラブにて開催されました。

参加者は東京麹町RC7名、福島南RC7名 計14名で和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。

## ◆社会奉仕委員会研修セミナー報告◆

## 廣澤 俊樹 社会奉仕委員会委員長



7/27(土)13:30から、郡山市の南東北総合卸センターにおいて、直前は雷と大雨の中開催されました。

対象は2530地区全クラブ対象で、約150名弱の参加でした。セミナーは第I部 牧 公介PGによる「社会奉仕の実践」と題した基調講演。第2部 「あなたの分區で復興プロジェクトを考えていますか。」として各8分區の代表による発表。そして、地区社会奉仕委員会委員長による「会津の里にこらんしょ！」プロジェクトの説明があり、最後に大橋 PGによる講評という構成でした。

セミナーの主題「実践を伴ってこそ、その必要性和、意義の大きさを実感することができます。」

## 今月・来月のプログラム

- |          |  |
|----------|--|
| 8月28日(水) | ゲストスピーチ                                  |
| 9月4日(水)  | 会員スピーチ・ゲストスピーチ<br>ロータリーの友読みどころ<br>誕生日お祝い |
| 9月11日(水) | 地区セミナー報告                                 |
| 9月18日(水) | 成蹊高校 IAC 年次大会報告<br>リーダー研修報告・ゲストスピーチ      |
| 9月25日(水) | 新会員歓迎会・会員研修会                             |

## 一編集後記一

高校球児の夏が終わり、今年も残念ながら深紅の優勝旗は白河の関を越えられませんでした。しかし、ベスト4に2校残ったことは間違いなく、明日への夢と元気を我々に与えてくれました。

残暑がしばらく続きそうです。会員の皆様には御身ご慈愛下さい。 吉田(仁)